

# 2013年1月1日～2018年12月31日の間に福山市民病院外科において腹腔鏡下噴門側胃切除の治療を受けられた方へ

## —「胃上部早期がんに対する腹腔鏡下噴門側胃切除術の検討」へご協力をお願い—

研究機関名 福山市民病院 外科  
研究責任者 福山市民病院 外科 (職名) 科長 (氏名) 浅海 信也

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

胃上部の早期がんに対して噴門側胃切除は胃全摘を避ける機能温存手術として広く受け入れられております。近年はその手技や器具の進歩により低侵襲な腹腔鏡手術を行われることが多くなっています。しかし一方で噴門機能を失うことによる術後の胃食道逆流症は患者さんにとっては大きな問題です。これまで当科で行ってきた逆流防止手術を付加した腹腔鏡下噴門側胃切除+前方噴門形成付加手術の成績をあらためて検証し、本術式の欠点・利点を明らかにしたいと考えております。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

欠点・利点を明らかにすることにより、より良い手術術式の開発につながることを期待できます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2013年1月1日～2018年12月31日の間に福山市民病院外科において腹腔鏡下噴門側胃切除術の治療を受けられた方15名を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

2019年6月28日(当院倫理委員会承認日)～2019年12月31日

#### 3) 研究方法

2013年1月1日～2018年12月31日の間に当院において腹腔鏡下噴門側胃切除術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術関連・血液検査・内視鏡検査などのデータを選び、胃食道逆流症に関する分析を行い、手術により胃食道逆流症の出現する仕組みについて調べます。

#### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、手術内容、内視鏡検査やphモニター・マノメトリーなどの検査データ

#### 5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年8月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

#### <お問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 外科 (氏名) 浅海 信也  
電話：084-941-5151